

合格体験記

氏名：S.T.

[合格した自治体(校種・教科)]

大阪府 (小学校)

Q 採用試験に向けて...

①いつから勉強しましたか

私は小学校認定試験を3年生の時に受験したので、その受験勉強を兼ねて教職教養をメインに3年生の7月から勉強を始めました。

②どのような教材を使っていましたか

- ・ 東京アカデミーの参考書、問題集
- ・ 2011年度版教員採用試験過去問シリーズ①・② 時事通信出版局
①が教職教養 ②が一般教養
- ・ 東京アカデミーのセサミノート①教職教養
- ・ 大阪府・大阪市・堺市の専門教養 小学校全科 協同出版

③勉強方法

まず教職教養、理科、社会は参考書を見ながら自分でまとめたノートを作りました。春からは過去問シリーズを使って問題を解きまくり、自分の苦手分野を明確にしました。苦手なところを参考書で確認したり、問題集を解いて理解し、また過去問を解くということを繰り返しました。

④一日何時間勉強しましたか

授業やナビの活動があったり、日によって息抜きしていた時間が違うので、はっきり一日何時間とは言えませんが春からはなるべく10時半から11時半には図書館に着いて図書館が閉まる22時までは図書館にいるようにしていました。

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

大阪府・愛知県・神奈川県を受験しました。筆記は上で述べた様に、面接はナビで行なわれる面接練習に参加し、面接練習がおわったらみんなでフィードバックをして面接ノートをまとめたり、志望動機や自己PRを練りました。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

神奈川県で二次で実技(体育:水泳とバスケットボール又はマット運動、図工:鉛筆でのデッサン)と模擬授業があって、大阪府の二次では実技(体育:水泳)と模擬授業がありました。水泳は大学の近くの市民プールへ受験する何人かで泳ぎに行き、お互いにフォームをチェックしました。図工は芸術学科の先輩に指導して頂き、何度も練習しました。神奈川県の模擬授業は準備ができるので、ナビの仲間に手伝ってもらいながら模造紙を作って、授業の練習をしました。大阪府の模擬授業の対策は小学校を受験する人で集まり、お題を出しあって即興で授業をし、アドバイスしあって対策しました。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

家族です。大好きです。いっぱい一緒に笑ったり、相談したりされたり、たくさん怒られたり…みんなが支えてくれたから合格できたと思っています。とても居心地の良い場所でした。

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

4年生になってゼミを含め2コマしか授業がなかったし、ゼミも課題や発表がなかったので、ほとんど試験勉強に時間を費やすことができました。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

3年生の時に、認定試験の勉強や小学校でのスクールボランティアや少年サッカーのコーチのボランティアをしたかったので、バイトを辞めました。ボランティアは2つとも4年生の5月から12月まで休ませてもらいました。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

絶対に教師になる！！と思っていたので挫けたことはないです。ただ勉強ばかりで疲れた時は、ナビの仲間や先輩と話をしたり、勉強終わってからカラオケに行ったりして気分転換をしていました。

⑪大学生活中にやっておいたらしいこと

スクールボランティアは面接での話のネタにも使えるし是非やってください。あとは自分のやりたいことをどんどんやれば良いと思います。

Q これからどのような先生になりたいですか

自分が教師を目指そうと思ったきっかけが、小学校6年生の時に会った先生のようにになりたいという憧れからだったので、私も子どもたちから憧れられるような魅力ある先生になりたいです。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

「精神的に向上心のないものは馬鹿だ」

と、かの有名な夏目漱石も『こころ』という作品で言っています。常に向上心をもって努力し続けてください。自分より努力したやつがおらんって思えるくらい努力できた人たちが合格します。

また、しんどい時や辛い時には周りに仲間がいるはずなので支えあって頑張ってください。私は、同期の仲間のほかによく先輩にも話を聞いてもらっていました。今度は私が皆さんの助けになる番だと思っています。なので私なんかでよかったらいつでも相談してください。

最後に、皆さんの合格を心から願っています。